令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

【演習の目的】
　各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】
　日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

【演習の実施場所】
　日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】
　令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】
　演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦

空挺作戦

海上作戦

統合防空ミサイル防衛

共同統合対艦戦闘

その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信

千葉県内で実施を検討している訓練内容
共同統合対艦戦闘（戦闘機部隊の展開訓練）

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。その際、航空自衛隊の戦闘機部隊は、航空自衛隊の百里基地が使用できない事態を想定し、海上自衛隊の下総航空基地に一時的に展開する訓練を計画しています。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）
※　前週（１３日（火）～１６日（金））に、あらかじめ３日程度、事前訓練を計画する予定です。
【参加部隊】航空自衛隊：中部航空方面隊　第７航空団
【下総航空基地】人員約４０名、Ｆ－２戦闘機×４機（最大）、Ｔ－４練習機×１機
大型テント×１、可搬型燃料タンク、可搬型給油装置、可搬型気象観測装置

訓練イメージ

①百里基地から四国沖訓練空域に進出し、訓練に参加
②四国沖訓練空域から下総航空基地へ飛行し、離着陸訓練を実施
③百里基地に帰投
※期間中に３日間程度、１日１回（最大５機）の飛行を計画しています。
なお、土日及び夜間の飛行は計画致しません。

下総航空基地

Ｆ－２×４
（百里基地所属）

Ｔ－４×１
（百里基地所属）

※　戦闘機部隊の他、訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（Ｃ－１３０Ｈ又はＣ－２）の飛行を計画する可能性があります。

大型テント

可搬型燃料タンク及び
可搬型給油装置

気象観測装置

※　訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。